



【令和元年10月号】

清水小学校

校長 高井正樹

## みなさんに支えられて



5年生の家庭科は、ボランティアの皆さんに来ていただき、支えられています。1学期は玉止めなど、手縫いの基本を教えていただきましたが、今回はミシンを使ってエプロンを製作する学習のサポートをしていただきました。教師一人では手が回らないところを、グループごとについていただき、熟練の技で丁寧に教えていただきました。

環境整備は、PTAの皆さんに支えられています。9月の最後の日曜日に、PTA生活環境委員会が主催する「秋の環境整備作業」が行われ、校舎のガラス拭きとワインロードの花壇の片付けを行っていただきました。普段は手の届かないところをスッキリときれいにしていただき、見違えるようになりました。



学習発表会は、清水中学校の先生にも支えられています。先日は発表会に向けた練習の真っ只中、清水中学校の村端先生が6年生の合唱指導に来てくださいました。昨年も指導していただいた6年生の子どもたちに、今年もワンポイントレッスンをしてくれました。

6年生たちのきれいな歌声はさらに磨きがかかり、発表会本番が楽しみになりました。

## 御影小学校3つの「あ」～みんなが気持ちよく生活～

御影小学校では、しみず「教育の四季」に合わせて、季節ごとに3つの「あ」を生活の重点として取り組んでいます。

春～新たな出会い、ふれあい→「あいさつ」  
夏～自然や人の豊かさに感謝→「ありがとう」  
秋～実り・成長を感じて→「あとかたづけ」  
冬～寒さに負けない心と体  
→「3つの『あ』の定着のとき



校長は毎週金曜日の朝に地域の方々と「歩こう会」に参加していますが、地域の方から「最近、御影小の子たちの挨拶が良くなってきたね。」との話をいただきました。

それは、先生方、保護者、地域の方々のご指導に加え、**【ありがとうの星空～児童会の取組～】**児童会の「あいさつ運動」の成果でもあると思います。

前期の児童会（代表委員会）では、夏の「ありがとう」を意識して、「ありがとうの星空」という取組をしました。「いつも一緒に遊んでくれてありがとう」「困ったときにやさしく助けてくれてありがとう」「勉強をわかりやすくおしえてくれてありがとうございます」など、子どもたちが書いたたくさんのメッセージが集まりました。

今は秋で「あとかたづけ」が重点です。みんなが気持ちよく生活できるよう、これからもみんなで重点を意識して生活ができたらと思います。

## 一生心に残る修学旅行～札幌・小樽方面に行ってきました～



【テレビとうさんと記念撮影】

9月18日（水）・19日（木）、6年生が修学旅行に行ってきました。この日のために、6年生は、たくさんの準備を頑張っていました。その甲斐もあり、自主研修では計画通りの見学場所を回り、どの班も時間通り、テレビ塔に集合することができました。2日目の小樽での自由散策後の集合も、余裕をもってでき、子どもたちの時間を意識しての行動が素晴らしかったです。普段できない製作体験をしたり、バス中のレクも盛り上がりたりして、一生心に残る修学旅行になりました。

保護者の皆様には、準備や送迎等のご協力をいただき大変ありがとうございました。

「やっぱり清水中学校の『第九』合唱はいいね」、地域の方からそんなうれしいお言葉をいただいた文化祭が成功裏に終わりました。生徒たちは「『華』～One for all, All for one～」をテーマに合唱、モザイク画、学級垂れ幕、吹奏楽部演奏、演劇、作品展示、舞台発表など、学習や文化活動の成果を発表させていただきました。



「合唱コンクール」は、ゆとりのない教育課程のなか、限られた練習時間で、第九の全校合唱、学年ごとに決められた課題曲、歌声委員を中心に学級ごとに決定した自由曲の3曲を練習しなければなりません。「歌声委員会」を中心に、1学期の内から選曲や指揮者、伴奏者の選定、個人練習がスタートして取り組んでいます。また、本校ではチャイムに「第九」のメロディーが設定されています。授業の区切り毎に耳にするチャイムとともに、文化祭準備活動中は各教室から生徒たちの生の歌声が聞こえてきます。とても心地よいです。

当日は多くの来賓、保護者、地域の皆様を迎え、「第九の町しみず」にふさわしい第九の全校大合唱で文化祭が開幕しました。どの生徒もとてもいい表情で練習の成果を披露しました。そんな姿が保護者や地域の方々の胸に届いたのではないのでしょうか。「第九の町」の子どもたちの合唱は、今も脈々と受け継がれています。

「合唱」はコンクールですが、審査員も優劣を付けるのが苦しいほど、どのクラスも心に響く発表がされました。保護者・地域の皆様の温かい眼差しも生徒たちに緊張感を与え、すばらしいステージが成り立っているのではないかと思います。この場をお借りして、皆様に心から感謝申し上げます。



「合唱」はコンクールですが、審査員も優劣を付けるのが苦しいほど、どのクラスも心に響く発表がされました。保護者・地域の皆様の温かい眼差しも生徒たちに緊張感を与え、すばらしいステージが成り立っているのではないかと思います。この場をお借りして、皆様に心から感謝申し上げます。

これから清水中学校吹奏楽部への応援をよろしくお願いします！

（教頭 須藤 正博）

（教頭 須藤 正博）

## ■ Just Smile～笑顔の花を咲かせよう～

9月28日(土)に行われた第49回文化祭は、テーマを見事に反映した素晴らしい文化の祭典になりました。開祭式では生徒会部門の企画により、ステージに映し出された全校生徒一人一人の笑顔をバックにダンスを披露し、これから始まる文化祭のさわやかな幕開けとなりました。

午前中の発表は、英語暗唱、演劇、合唱でした。特に合唱では、1年生の元気の良さ、2年生のハーモニーの美しさ、3年生のやわらかな音色と各学年の持ち味を生かした歌声が披露されました。その後、全校生徒による3曲の全校合唱が演奏され、最初は緊張した様子でしたが、後半になるにつれ伸びやかな歌声へ変わり熱意の伝わる合唱となりました。

午後の部の学級発表は、各学級ともよく考えられ工夫された内容でした。各学級のカラーが出ており、思わず会場のお客様も笑顔がこぼれてしまう場面が多く、笑顔の花はこの日終始満開でした。

さて、2学期最大の行事が終了しました。各学級では新しい学級役員や個人目標が決まり、後期のスター



トを切ったところです。文化祭で培った、チームワークや主体的に考え、計画的に行動していく力を更に伸ばし、「気づき、考え、行動する」御中生として飛躍することを願っています。そのために、私たち教職員も、全力で子どもたちをサポートしていきたいと思います。

(御影中学校 教頭 田代 佳子)

## 食欲の秋！

収穫の秋を迎え、生産技術系列の食品分野では、帯広での「とかちマルシェ」、そして「十勝清水 肉・丼まつり」に出店するなど、大忙しの時期を迎えました。こうした休日の地域でのイベントへの出店は、お客さんと直接接する中で、自分たちの開発した商品の手応えなどを知る学びの機会となっています。また、「パン甲子園 in いわみざわ」では2年連続のグランプリに輝きました。このあとの「うまいっしょ 北海道高校生コンクール」などのコンテストでも、同じような夢をもつ他校生との切磋琢磨が続きます。

9月30日からは全道のセイコーマートで、本校が開発した「十勝の雪どけ」が販売されています。期間限定ですので、是非ご賞味を！



【パン甲子園グランプリ受賞】

## 清水高校の授業や先輩の魅力！

10月3日（木）、一日体験入学を実施し、清水中と御影中の生徒をはじめ、たくさんの中学生と保護者、引率教員、教育委員会関係者などにご来校いただきました。本校の体験入学の特徴は、在校生が中心となって運営するところです。今年も、たくさんの在校生の協力により、オリエンテーションや生徒会企画が進行されたほか、体験授業でも先生役になったり、中学生の活動をサポートしたりしてくれました。本校の魅力は、実験や実技、実習などを通して、多様な科目を勉強できる総合学科であることに加え、こうした後輩を歓迎する気持ちをもつ、心優しい先輩方にもあります。



【理科：アイス製造実験】



【書道：広げよう私の夢】



【保体：レッツダンス！】



【商業：コンピュータで商品管理】

清水高校では、一日体験入学以外でも、面白く、ためになる授業が日常的に行われています。

先日の理科「地学基礎」の授業では、太陽エネルギーの学習のため、手作りの太陽光収集器を作成し、実験しました。二種類のビニール傘の骨組みにアルミ箔をはり、中央の空き缶の水に太陽光を集め、水温を50度まで上昇させることに成功しました。さらに、効率よく温度を上げるため、研究中です。



【自作の太陽光収集器で実験】

英語の「英語会話」の授業では、インターネットを通じてアメリカの高校と交流学习しています。交流学习では、日本語と英語の両方を使いながら、相互に、自己紹介や地域紹介などの文や画像のやり取りを、タブレットやスマホで行います。授業時間や時差の関係でタイムレスにはなりませんが、文章を送るときに伝わる英文に翻訳しながら、コミュニケーションする楽しさを味わっています。



【ALTが英文をチェック】

## ひまわりの日～食育指導

- 9月のひまわりの日は“食育”にかかわる指導を中心に行いました。各教室でスプーンやはしの使い方について確認したあと、遊戯場で“バランスのとれた食事の大切さ”について栄養士の秋島さんから①3色のバランスのとれた食事の大切さや②お菓子や飲み物に含まれる砂糖の量を知って、これからの食生活を意識することを学びました。



最後に「おやつを上手に少なく調整して食べてください。」と栄養士さんから言われて、全員が「ハイ。」と元気よく応えていました。さらに「おうちへ帰ったら、お父さんやお母さんにお話してできるかな？」とお願いがあり、これまた元気よく「ハイ。」と返事をしていました。健康を意識した食生活になることを願っています。

## じゃがいもほりをしました～清水高校との交流

- 5月10日にじゃがいもを植えてから、丁度4か月目の9月10日に収穫を行いました。この日は9月にしては気温が高く外での活動は少々大変でした。9時過ぎから高校生15名が掘る準備のために来てくれて、あさがお・たんぽぽ組から掘り出しました。一生懸命手で掘ると丸々と立派になったじゃがいもがごろごろととれました。先生が一人一人



の子どもが収穫したいもを手記に記念写真を撮っていました。その後さくら組、ばら組と同様にいもを掘り出し、笑顔で作業を楽しんでいました。最後にばら組さんからお礼の冷たいお茶を渡して、一連のじゃがいもほり作業が終わりました。帰るときには、子どもたち一人一人に8個ほどのおみやげを袋に入れてお持ち帰りをしました。作物を育てる・お世話をする・収穫をし、その恵みをいただくという長期間に渡り、清水高校との校種間

連携・交流は幼稚園の子どもたちの健やかな成長の一助となり、保育の質の向上につながる取り組みを続けています。

## 教育委員会

令和元年 第13回“しみず「教育の四季」子どもフォーラム”を下記の通り開催します。参加いただきますようご案内申し上げます。

### 1 目的

清水町の児童・生徒の意見交流を通して、しみず「教育の四季」の趣旨の浸透を図り、未来を担う、町の宝である子どもたちの健全育成を目指した教育実践を町民総ぐるみで取り組むための方向性を探る。

### 2 主催

しみず「教育の四季」推進協議会・清水町教育委員会

### 3 日時

令和元年11月26日（火） 15:30～17:10

### 4 会場

清水町文化センター 1F 大集会室

### 5 参加者

- (1) 各小・中学校児童・生徒代表
- (2) 清水高等学校生徒代表
- (3) しみず「教育の四季」推進協議会役員
- (4) 町民・保護者

### 6 日程及び内容

15:30		16:10		17:10
受付	開会	各学校の取組発表	グループワーク	閉会
		各小・中・高の児童会・生徒会の“しみず「教育の四季」”の取組内容とその成果及び課題等について発表	十勝清水学で取り組んだ「清水ミライ若者会議」からの提案、清水高校生の「町づくり新提案」をもとに生徒と参加者のグループワーク *テーマ 「知恵とあるもの探して まちづくり」	

### 7 お問い合わせ・申し込み

清水町教育委員会（担当：教育指導幹 福原 幸江）

TEL 0156-62-5138 FAX 0156-62-7100

Eメール：[sidoukan@town.shimizu.hokkaido.jp](mailto:sidoukan@town.shimizu.hokkaido.jp)



# しみず教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで

「12の窓」から感性あふれ、表情豊かな子を育てる

秋～心を染める色の中で 感性みずみずしく

<家庭・学校・地域今月の取組>

家庭は、TV消し、夕べの読書

学校は、静寂の

朝の読書で一日をスタート

地域は、図書館で

心ときめく本との出会い

